

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。21ページに掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

読者の伝言板



もうすぐ私は小学校を卒業します。この六年間いろいろなことを学びました。そしてたくさんの思い出ができました。中学校でも頑張りたいです(はるちゃんさん 12歳・泉)

誰にでも分け隔てなく訪れる季節。わが家の庭に春一番に咲く白い花のシラー。次々に福寿草、クロッカスと咲き、植物好きの私を楽ませてくれます(越後谷金雄さん 74歳・土崎)

毎回広報を楽しみにしています。前はヤマハゲが取り上げられて、豊岩は私の生まれた所で、写真の人たちもみな知っている人で、感激しました。これからがんばってください(栗田ユキ子さん 60歳・外旭川)

実家が河辺赤平です。「鳥追い」懐かしいなあ。小学生のとき、毎年参加しました。去年は私の息子二人が実家に遊びに行き、参加してきました(北林こずえさん 30歳・八橋)

干支(えと)はこの国も同

じだと思っていたら、中国は「ブタ」と知ってびっくりです(くるみのママさん 49歳・仁井田)

先日、広報あきたの情報チャンネルを見てパソコン基礎講座を受講いたしました。いろんな企画ありがとうございました(鈴木真由美さん 36歳・卸町)

高校のとき、秋田国体に出場していろいろみなさまにお世話になりました。今回は逆の立場でお手伝いしたくボランティアで参加することになりました。期待でいっぱいです(太陽さん 62歳・旭南)

日曜日、冬の大森山動物園に行き、たいへん楽しい一日を過ごせました。また、職員みなさんの仕事の大変さを知りました(浅野恵子さん 67歳・飯島)

今年の冬は暖かく、雪寄せをしなくていいし、通勤通学の人たちも苦労しないで助かっている。雪に泣かされないのはうれしいことだが、地球温暖化を避けるため、ちょっ

地域のお話 おしえて!!

西部地域わくわく子どもデイ

広げよう! 育児を支える地域の輪

2月10日、アトリエもさだで開催された「西部地域わくわく子どもデイ」。地域全体で育児をサポートしようと、民生児童委員や育児サークル、保育園、幼稚園などのかたがたが、「西部地域子育て支援ネットワーク連絡会」を結成し、初めて行ったイベントです。

就学前の親子44組117人が参加し、親子一緒にふれあい遊びをし

たり、大きな絵巻物を見て楽しみました。自由に折り紙や工作ができるコーナーでも、子どもたちは大はしゃぎ。お母さん同士で情報交換をする場面もあり、大人も子どもも笑顔いっぱいの日となりました。

同連絡会の伊藤一会長は、「子どもの成長には、家族の愛と地域の協力が大事です。子どもを囲む地

域の輪が、もっと大きくなるといいですね」と話してくれました。



のびのび元気に遊びました!

このコーナーでは、町内や地域のいろいろな話題を紹介していきます。耳よりのニュースがありましたら、広報課までお知らせください。

tel(866)2034 FAX(866)2287



おしゃべりかわらばん

伝統を舞いました

去年の7月から練習してきた日本舞踊の「子供桜」を、ねぶり流し館の舞台上で発表したよ。踊るのはすごく楽しいけど、みんなと動きを合わせるのがたいへん。今日は、きれいな着物で、練習より上手に踊れたよ



伝統文化こども教室で、日本舞踊を習った蒔苗真奈さん(大住小2年)



千秋美術館「中村征夫写真展」の入場者が1万人を超え、大盛況のうち終了。1万人目となった河村敦子さん(写真右)は、「等身大のザトウクジラの写真が素敵でした」と感動の様子(写真は、一緒に来ていたご家族と。中央が中村征夫さん)

国体成功に向けて

今年は「秋田わか杉国体」が行われます。私たちの清掃活動も春からいよいよ本格始動。国体に向けて、秋田の街や山、川、海を美しくしたいですね。すこやかな心、清らかな心で、清掃したいと思います。



秋田清掃登山連絡協議会の大山鶴子さん

よみがえる落張皿

落の葉を皿に加工した落張皿を作っています。それぞれ落の色や葉脈が違う「一点もの」です。唯一の落張職人であった師匠から受け継いで5年。もっと腕を磨いて、秋田を代表する特産品にするのが目標です。



12年ぶりに秋田落張皿を復活させた船木功さん(土崎)

技術を生かして

今日は、ひとり暮らしの高齢者のお宅で、襖(ふすま)の張り替えや取り付けをしました。喜んでもらえてとてもうれしいです。自分が持っている大工仕事の技術で、地域に貢献できることにやりがいを感じます。



地域活動サポート事業に参加したシルバー人材センター会員の中村辰夫さん

初めての伝統工芸

伝統工芸品を作るのも、間近で見ると初めてでした。筆で漆(うるし)を塗るのが難しかったけど、楽しくできました。実際にやってみて秋田の伝統工芸に興味がわきました。お椀と箸はずっと大切に使います。



漆芸教室でお椀と箸づくりに挑戦した、星野康平さん(下浜中1年)

と重ね着して暖房の温度を下げるなど、二酸化炭素を少しでも減らすよう自分のできる省エネ生活を心掛けています(還暦さん 59歳・外旭川)
マイバッグをつい持ち忘れることもありましたが、私も使いはじめました。使ってみて気付くこともありましたが！例えば、袋一枚じゃ足りないときもあるし、レジで「袋いりません」と言うタイミングが合わず、店員さんの「いらつしやいませ」と重なってしまふときもあり、お互い焦るなど。使い慣れるよう、日々、チャレンジ実践中です(もうすぐ春さん 26歳・桜台)

係からひとこと
「私のお墓の前で泣かないでください」。名曲「千の風になつて」のくだりです。先日取材した「平和の日」秋田の集いで作家の新井満さんと歌手の加藤登紀子さんが、それぞれ見事な歌声で披露してくれたのが、この「千の風になつて」です。この瞬間、それまで笑いに包まれていた会場の空気が一変しました。涙が自然とあふれてくる、それでいてごく穏やかなそんな雰囲気になったのです。言葉や表現の持つ力ですごくいい！改めてそう感じた瞬間でした。広報も言葉を大切にしなければいけませんよね。みなさんの心に響くような気の利いた言葉。
これって結構難しいんですけど、頑張ります！(相場)



広報クイズ

2月16日号の当選者

前回のクイズの答えは、問1が「鳥」追い、問2が「1」時間でした。全問正解185通(応募総数189通)の中から、次の20人のかたに図書カード(10人)とスギッチグッズ(10人)をお送りします。
= 敬称略 =

図書カード きんかん(牛島)、工藤ミチ(千秋)、佐藤裕(土崎)、シゲちゃん(金足)、菅原裕子(将軍野)、橋秀子(茨島)、テッコ(泉)、日野恭子(中通)、堀井真樹子(御所野)、渡辺伊沙(旭北)
スギッチグッズ 石井優希(寺内)、北林こずえ(八橋)、くーちゃん(新屋)、斎藤吉郎(将軍野)、佐々木正子(飯島)、スギ太郎(将軍野)、塚田トクエ(浜田)、寺嶋敏雄(新屋)、ナナちゃん(八橋)、藤田啓一(手形)

3月の広報クイズは21ページです。よろしく!!

広報クイズの当選者は、毎回、市政記者室の記者のかたに厳正に抽選してもらっています(広報課)



受け継がれた職人の技「秋田落張皿」。一枚一枚に心が込められています